早稲田大学 大学院法学研究科

2027年度 修士課程入学試験問題（一般入試）

【専 修 科 目】

専攻名： 民事法学	専修名： 民 法

以下の問題から一つを選んで解答しなさい。なお、解答の冒頭にいずれの問題を選択したかを明示すること。

問題1

日本民法において、不動産所有権の二重譲渡をどう捉えるか、その法的構成をめぐって学説上争いがある。①このような論争がなぜ生じるのか明らかにしたうえ、②幾つかの見解を取り上げ、それぞれの見解のポイントが何か、また、③それぞれの見解によりどのような解釈論的な違いが実際に生じるのか、説明しなさい。さらに、④日本以外の国の民法を任意に一つ選び、この問題の取り扱いについて、比較法的な見地から分析しなさい。

問題2

学説上、不法行為の成立要件として挙げられることのある「違法性」要件の要否につき、近時生じつつある新たな不法行為の類型等をも念頭に置きつつ検討しなさい。

問題3

事実上の身分関係に対して民法の規定が類推適用される場合とその限界について、親族法と相続法からそれぞれ例を引いて、判例の立場を説明しなさい。また、事実上の身分関係に対する法的保護をどこまで認めるべきか、あなた自身の考えを述べなさい。

答案の書き方（○横書き ／~~縦書き~~ ） 六法全書の使用を（○認める／~~認めない~~）